

◆ ○ ◆ ○ ◆ 第4支会のご紹介 ◆ ○ ◆ ○ ◆

1 地域の概況

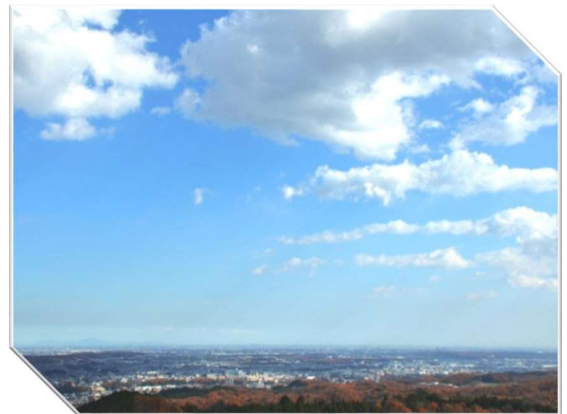
第4支会の区域である梅郷地域は、市の西部に位置し、秩父多摩甲斐国立公園の玄関口にあたります。



<畑中地区、和田町地区、梅郷地区、柚木町地区を望む>

梅郷地域は、畑中、和田町、梅郷および柚木町の各地区から成立っており、市を西から東へ貫流する多摩川の右岸の段丘に開かれた東西に細長い地域です。

多摩川を隔てて沢井・二俣尾・日向和田地区等と向い合い、梅郷地域の東は駒木町に、西は御岳に隣接しています。



<「赤ぼっこ(山)」から、東方面を望む>



<神代橋から奥多摩の山々を望む>

面積は約11.8平方キロメートルで人口は10,260人、世帯数は4,662世帯です。
(令和2年3月1日現在)

御岳山から東にのびる尾根は愛宕尾根と呼ばれ、日の出山、高峰、愛宕山、三室山、梅ヶ谷峠、馬引沢峠へと続き、あきる野市・日の出町と接しています。



梅郷地域一帯は「吉野梅郷」と呼ばれ、農家の梅園などが点在していた「梅の里」で、代表スポットである「青梅市梅の公園」は、平成21年に、新聞によるランキングにおいて、全国の梅の名所「第1位」に選ばれました。

しかしながら、近年、「ウメ輪紋ウイルス」が確認され、以後、地域の感染梅樹は伐採され、「梅の公園」も、平成26年に全ての梅樹が伐採されました。

<青梅市梅の公園・平成25年春の情景>

復活・「観梅市民まつり」



<浜中市長と青梅市親善大使・篠原ともえさん>



その後、「青梅市梅の里再生計画」を推進し、「ウメ輪紋ウイルス」の強化対策を図った結果、平成28年10月、強化対策の継続などの条件付きで、梅郷地区および和田町地区への梅の木の再植樹が認められました。

平成28年11月、「梅の公園」において、「梅の里再生への植樹式」を実施し、以後植栽が行われ、令和2年3月現在、梅の公園に約1,300本、地域の農地などを含め、約5,000本（総数）の梅樹が植樹されました。

一方、平成29年3月、「梅まつり」が再開され、以後、毎年3月に「観梅市民まつり」が行われています。



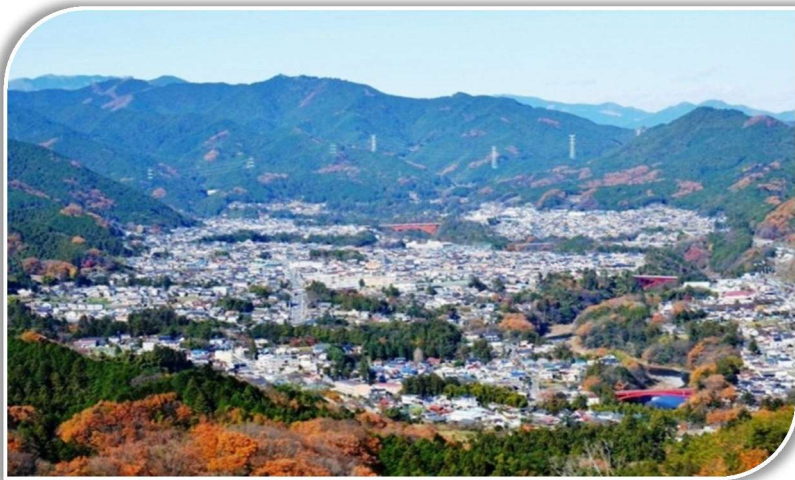
<交通安全パレード・騎馬隊>

<高円寺阿波おどり>



<東京消防庁カラーガーズ隊・音楽隊>





<和田町、梅郷、柚木町、和田橋・神代橋・奥多摩橋を望む>

教育施設は、市立第五小学校および市立西中学校があり、幼稚園が1園、保育園が3園あります。

神社は、畑中神社、下山八幡神社、愛宕神社などがあり、また、仏閣は、地藏院、竹林寺、天澤院、大聖院、即清寺などがあります。

また、秩父・鎌倉街道(古道)の一部が、ほぼ当時の形で残っているところもあります。

2 地域の歴史

(1) 変遷

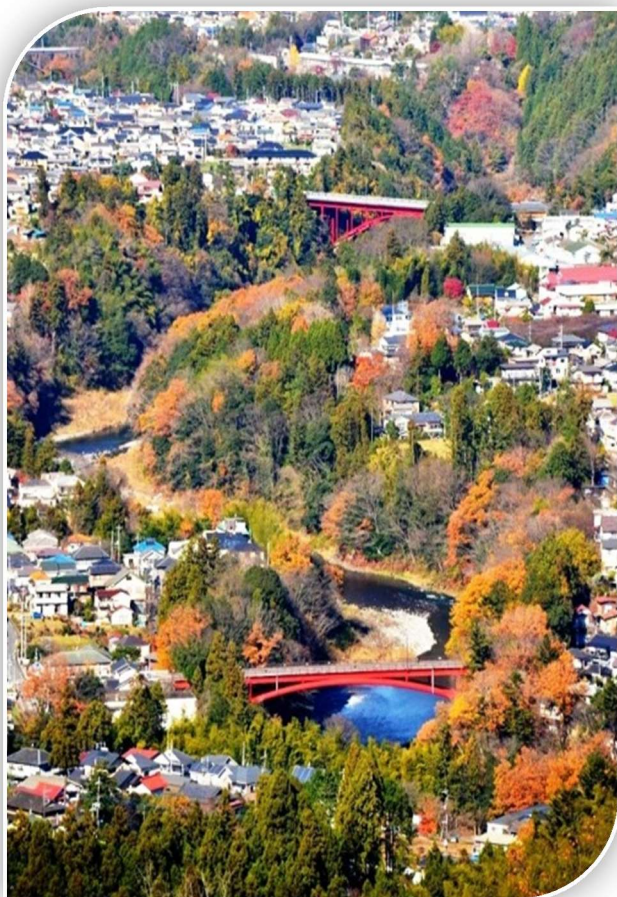
梅郷地域は、古くは吉野村と呼ばれ畑中、日影和田、下および柚木の四つの地域に分かれていました。

昭和30年4月に、吉野村は他の三村(三田村、小曾木村および成木村)とともに、青梅市と合併しました。

昭和42年には、町字区域合理化事業により、現在の畑中、和田町、梅郷および柚木町となりました。



<畑中地区>



<多摩川崖線の紅葉と和田橋・神代橋>



<畑中・和田町・下郷(梅郷1・2丁目)地区>

<和田町地区>

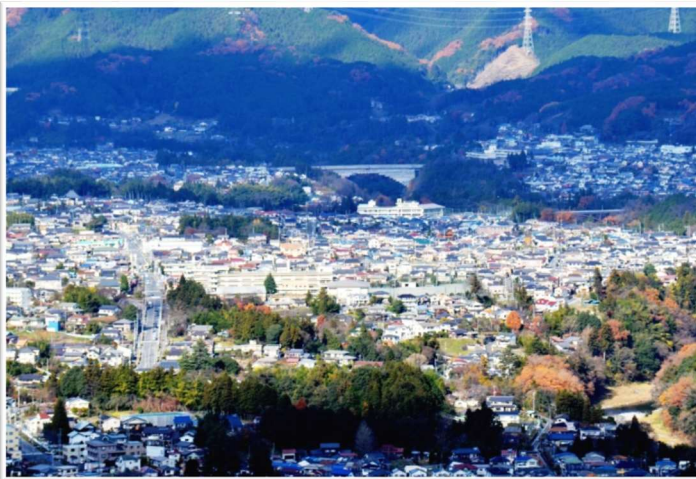




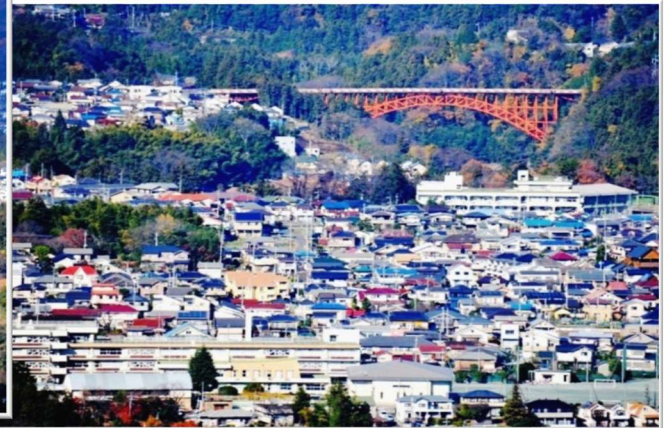
<中郷(梅郷3・4・5丁目)地区>



<下郷(梅郷1・2丁目)地区>



<中郷(梅郷3・4・5丁目)・上郷(梅郷6丁目)地区>



<五小、西中、上郷(梅郷6丁目)と奥多摩橋>



<柚木町地区>



<柚木町地区>



<多摩川の流れと軍畑大橋>



<柚木苑地>



<吉川英治記念館>

(2) 文化人
 大衆小説文学の巨匠「吉川英治」氏は、昭和19年、戦火を避け柚木に家を求めて来住し、住まいを草思堂と名付けました。
 以来、梅郷地域の自然と環境を愛し、大作「新平家物語」を執筆し、地域の住民とも交流を行いました。
 昭和35年に文化勲章を受章し、昭和37年に70歳で没し、青梅市名誉市民の称号を贈られました。
 昭和52年には、生前居住していた草思堂の西側敷地内に、吉川英治記念館が開館されました。
 近年、入館者の減少などから休館しましたが、青梅市が「吉川英治文化振興会」から建物等の寄付を受け、令和2年9月に、再開館を行う予定です。



<即清寺>



<鎌倉街道案内板>



<ふるさと探訪>



<閻魔堂(十王堂)>

(2) 支会（自治会）等の活動
 第4支会においては、随時、自治会長会議を開催するとともに、正副自治会長研修、自治会加入促進活動、防災訓練、地域のスポーツ行事の推進、総合文化祭等を行っています。
 さらに、青少年対策の活動、環境美化運動、慰霊祭等への協力等も行っていきます。
 市の行政、事業等への協力や赤い羽根、緑の羽根、歳末助け合い募金活動等への協力も行っていきます。



<第4支会定期総会>



<梅郷地区市民大運動会>



「梅郷地区体育振興会（会長は第4支会長）」により、市民の体力づくりを推進し、社会体育の振興と発展を図っています。
 例年、運動会、ソフトボール大会、ビーチボール大会、ファミリーゴルフ大会、卓球大会などを開催しています。

梅郷地区総合文化祭



<ファミリーゴルフ大会>





<梅郷地区防災訓練（対策本部訓練）>

「梅郷地区防災対策委員会（会長は第4支会長）」が主体となり、防災訓練、防災講演会等も行っています。

また、「第4支会地域の安全をまもる会（会長は第4支会長）」を組織し、安全で住みよい地域の実現を目指しています。

防犯講演会を実施するとともに、各地区において、防犯・環境巡回パトロールを行っています。



<梅郷市民センター>



<防犯講演会>

青少対・講演会



<青少対・梅郷子ふれあい塾>



<梅郷地区戦没者慰霊祭>



<卓球大会>



<梅高連・老荘学園 芸能大会>



<ソフトボール大会>

このような組織以外にも、青少年対策梅郷地区委員会、青梅市消防団第四分団、青梅交通安全協会第四支部、梅郷地区環境美化委員会があります。

梅郷地区高齢者クラブ連合会、青梅市戦没者遺族会第四支部、梅郷地区慰霊塔奉賛会もあります。

さらに、青梅市まとい会梅郷支部、青梅女性防火防災の会第4支部などもあり、それぞれ活動を行っています。



<インディアカ大会>



<ビーチボール大会>



第4支会・自治会長、青梅マラソンにおいて、自治会への加入のお願い



第4支会、奥多摩溪谷駅伝競走大会に出場 <御嶽駅前スタート>